

平成17年1月

Vol. 4

発行／名田島自治会連合会

編集／自治会総務部

印刷／岐阜県農協印刷

田園

賀正

名田島自治会連合会

会長 大林基宏

あけましておめでとうございます。

昨年は、一口に言ってこんなひどい厄年、凶作があったのだろうか？昨年ほど台風に矢継ぎ早に見舞われた年は記憶にありません。昨年の災害、災厄の爪跡は現在も生々しく残っております。

陶ヶ岳の麓にかなり大きな鳥居が名田島開作に向かって氏子一同のみなさんによって建之されています。右側の柱には、国家、平和、左側の柱には五穀豊穡と刻まれています。戦争に対し平和、災害に対し名田島平野が黄金になる事を祈念して建之されたと推察しております。

地震、台風、高潮は自然界の現象であり、人間の力で阻止する事は不可能であります。災害時に人命と財産を守るために行政当局の努力も必要でございますが、当名田島地区は少子高齢化が進み独居老人の方が多く、災害時にいかに無事救出するかといった防災体制の確立が急がれている様に考えております。

又一方では、幼稚園、学校は少人数のため複式学級に移行するのではないかと危惧されております。

五穀豊穡の言葉は人命を尊重し、若者の定住実現があってこそ五穀豊穡が実るのだと訴えていると理解しています。

このため私は、自治会活動はいろいろ問題が山積しておりますが、若者の定住促進策の確立が急務になっていると考えています。

又、名田島は三方水に囲まれ、台風、高潮に対し非常に弱いところがございます。人命尊重の側面から自主避難体制の確立も急務になっていると考えています。

以上二点の実現のため各種団体に結集されています皆様方とスクラムを組み、五穀豊穡の名田島作りができる様進めて参りたいと決意しております。

新年を迎え絶大なる御支援と御協力をお願い致す次第であります。

研修



リサイクルプラザ

分別収集によって集められた資源物を、再資源化するための中間処理施設です。



自治連合会では総務委員会の呼びかけにより、自治会役員や各団体及び集落代表三十二名が参加し、十一月十一日に「中部クリーンセンター」「山口市リサイクルプラザ」「神田一般廃棄物最終処分場」「名田島集落排水施設」の四施設を視察致しました。

参加されました皆様より多数の感想文をいただきましたので一部を御紹介致します。

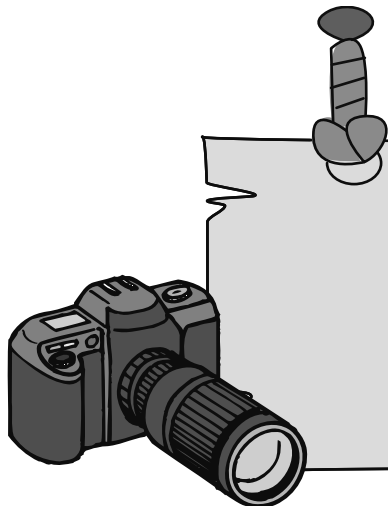
この度、思いがけず視察に参加させて頂き、とても感謝しています。私たちの日常生活に切り離せないゴミに、自分が今までいかに無関心で知らない事が多いかを思い知らされました。

私たちが快適な生活を送っている影にはたくさんの方々の努力があり、お金もかかっている事がわかりました。「たかがゴミされどゴミ」を実感しました。

これからは心してゴミ出しをしなくてはと思います。

とても有意義な視察ありがとうございました。





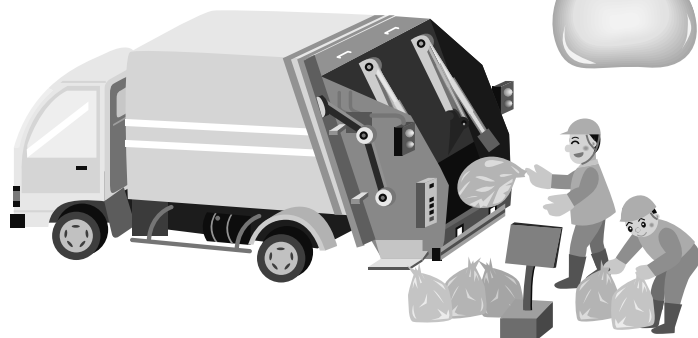
視 察

あと7年で満タン!!

名田島地区排水処理場



神田一般廃棄物 最終処分場



先日は、色々ご心配していただき誠に有難うございました。
中部クリーンセンター 名前ではお聞きして
いまでも、個人で視察できるところでないの
で今回参加して大変勉強になりました。各家庭
での生活ゴミを、できるだけ分別して集積所に
出したいものです。その為にも多くの方に施設
の見学をしていただいて排水ルールを守ってほ
しいと思います。
リサイクルプラザには、もう一度足を運びた
いと思いました。

◎燃やせるゴミにしても、燃やせ
ないゴミにしてもゴミの処理に
大変なお金がかかっていること
に驚いている。

◎リサイクルプラザでは分別して
処理しているが、その先、新
たな資源として利用されている
のか、さらに再資源化のための
経費がどうなっているのかもつ
と知りたい。

◎女性の参加が多かったのですか
った。

16年度の活動内容

長妻川に金網設置

益田鉄工所前の交差点で、停車中に長妻川にゴミの不法投棄が多いため、国土交通省に要請活動を行い金網設置が実現しました。



不法投棄看板の設置



平成15年に市環境保全課に看板の作成を要望致しておりました看板が16年度に2枚届きましたので船倉橋附近、2号線下の市道と、二ヶ所に設置致しました。
この看板は反射塗料（夜光塗料）で作成され、しかも大きな看板です、効果を期待しています。
17年以降毎年2枚程度提供されることになっていきます。
設置に御協力をお願い致します。

平成14年度協力員OB会の皆さんを中心に志のあるみなさんの参加を得て草刈、除草剤散布といった清掃活動の協力団体が誕生しました。この団体は平成16年度は「東開作・田中英照さん」が世話人となり十八名の参加をいただいています。
清掃活動以外に夏バテ防止のため、天然うなぎを食べ乍ら世情を語り合う事を企画しています。志のある方のお入会をお願いします。

ボランティア団体誕生



懸案事項でありました土砂の撤去を12月12日に、15年度協力員OB会の皆さんを中心に、民生部会、土木部会の有志の方の奉仕によって、20数年来堆積していました土砂の撤去を行いました。

草の繁茂を防ぎ、不法投棄に役立つと考えられています。



国道2号線下の市道の土砂撤去

地産地消のアンケートに対する取り組みについては、民生部会で検討し、対策を確立することになっています。
リレーミーティングの対話集の様子は、紙面の都合上後日の機会に致します。

地産地消

編集後記

止まった車の窓からタバコの吸殻がポイ、発進した道端にジュースの空き缶がコロリ、缶やビンひろいに参加をはじめてから、すぐく目につきます。このくらいはという安易な気持ちだと思います。ビンも缶も大切な資源であることをお互いもう一度考えましょう。

